

令和8年第2回瀬戸内町議会定例会

(令和8年6月10日開会)

一般質問通告一覧表

質問者

(通告順)

1〔8〕柳谷 昌臣 5〔6〕泰山 祐一

2〔2〕里山 正樹 6〔1〕栄 克人

3〔5〕中村 洋康 7〔3〕伊東さおり

4〔7〕永井しずの

6月11日（木） 9時30分～
通告1 質問者：柳谷 昌臣 議員

1. 商工業振興について【町長】

- (1) 新たな事業をする方々にとって重要である起業家支援補助金制度の要綱の見直しについての見解を伺います。
- (2) 町内の各事業所における高齢化・担い手不足等の対策について伺います。

2. 農林水産業振興について【町長】

- (1) 本町における今年度の農業農村整備事業の実施箇所と今後の計画について伺います。
- (2) 本町の重点作物の品目と今後の取り組みについて伺います。
- (3) 古仁屋市街地への農作物直売所設置についてのお考えを伺います。
- (4) ホノホシ地区の旧車海老養殖場の利活用について伺います。

3. 物価高騰対策について【町長】

- (1) 町民・町内の事業者においては、まだまだ物価高騰の影響を受けておりますが、新たな物価高騰対策について伺います。

6月11日（木） 午前
通告2 質問者：里山 正樹 議員

1. 網野子集落における仮設トイレ実証実験と地域活性化について【町長】

- (1) 仮設トイレ実証実験の結果を受け、トイレの必要性をどのように捉えているのか伺います。
- (2) 土日や祭日に、オープンしている網野子集落の無人販売所の動向を注視しているか伺います。

2. 未利用となっている町有財産の今後の整理・活用について【町長】

- (1) 人口減少や学校統廃合に伴い、廃校施設や旧教員住宅など、今後活用や管理の在り方を検討しなければならない町有財産が増えていくと考える。小規模集落では、草木の伐採や周辺環境の維持などについて地域住民が負担を感じている声もあり、老朽化により活用が難しい施設も出てきている。地域の理解や意向に配慮しながら、今後どのような方向性で町有財産の整理・活用を進めていく考えなのかを伺います。

3. 公共工事におけるランク制度と地域建設業の維持・育成について【町長】

(1) 瀬戸内町における公共工事のランク制度について、近年の物価高騰や人手不足、防衛関連事業の増加など、建設業を取り巻く環境が大きく変化する中、地域建設業の維持・育成という観点から、町の認識と今後の考え方について伺います。

4. 地域振興事業及び公共施設運営の持続可能な在り方について【町長】

(1) 現在、町において実施されている地域振興事業や公共施設運営については、行政直営や委託等、様々な形で運営が行われている。人口減少や財政負担、職員確保等が今後さらに課題となる中、行政が継続的に事業や施設運営を抱え続ける形だけでなく、民間事業者や地域団体等の発想やノウハウを取り入れた持続可能な運営体制の構築が必要ではないかと考える。また、施設整備から一定年数が経過している公共施設については、当初の設置目的だけに捉われず、現在の地域ニーズや交流人口の変化等を踏まえながら、新たな利活用の可能性について検討していく必要があるのではないかと考える。今後、地域振興事業や公共施設運営において、民間活力を活用した公募や指定管理者等も含め、どのような方向性を考えているのかを伺います。

5. せとうちラジオ放送終了後の情報伝達体制について【町長】

(1) これまで地域住民への情報伝達手段の一つとして活用されてきた「せとうちラジオ放送」が終了して以降、特に市街地以外の住民から「情報が入りにくくなった」との声が聞かれる。ラジオ放送終了に至った経緯や、現在の情報伝達体制をどのように整理しているか。また、高齢者や通信環境に不安を抱える地域住民への情報提供の在り方について、町としてどのように考えているのか伺います。さらに、放送免許や設備更新、維持管理などの課題、過去に活用した補助事業との関係や、今後活用可能な制度等について、どのような整理・検討がなされているのか伺います。

6月11日(木) 13時30分～ 通告3 質問者：中村 洋康 議員

1. 第三セクター奄美アイランドドローン株式会社の解散に伴う精算について【町長】

令和8年3月31日をもって満了となった、町の第三セクターである奄美アイランドドローン株式会社の精算については、今年4月以降の精算業務終了に伴い説明するという答弁でした。そこで下記事項について伺います。

(1) 会社清算の進捗状況及び清算終了予定時期について伺います。

(2) 町が出資した 1,500 万円の返還見込み額について伺います。

(3) 精算後の財産の帰属先及び今後の行政活用または民間活用の考えについて伺います。

本事業は、実証実験から会社設立・事業展開に至るまで、国の交付金を活用して実施されています。そこで、下記について伺います。

(4) 会計検査院による会計検査及び指摘事項等の有無について伺います。

(5) 指摘事項があった場合、その内容及び改善対応について伺います。

これまでのドローン関連事業に係る公費支出は、総額で 2 億円を超える多額の支出となっています。3 月議会の一般質問の町長答弁では、本事業の成果として、ドローン国家資格保有者等の人材確保・安全運航ルールやリスク評価体制の構築・ドローンサービスや行政活用に関する知見取得などが挙げられています。一方で、会社清算に至った経緯を踏まえると、町民からは「多額の公費支出に見合う成果であったのか」との声もあります。そこで、事業評価について改めて町長の所見を伺います。

(6) 本事業に対する総括的評価として、特に費用対効果についての認識について伺います。

(7) 今後の官民連携事業を実施する際の課題について伺います。

2. 地域コミュニティの活性化と暮らしやすい地域づくりへの取り組みについて【町長】

地域運営組織の創設について

(1) 現在の集落及び地域コミュニティが抱える課題についてどのように認識しているのか。また、高齢化や人口減少が進む中で、地域機能維持に向けた「地域運営組織」の必要性や有効性について、どのように考えているのかお伺いします。

(2) 先進自治体では、地域運営組織を活用し、買い物支援、防災、見守り、地域交通など、地域課題の解決に向けた取組が進められています。本町においても、モデル地区での検討会や、住民・自治会・NPO 等による協議の場を設けるなど、具体的な取組を進める考えはあるのでしょうか。また、総務省の交付金や交付税措置など、国の支援制度を活用する考えについても伺います。さらに、地域運営組織を単なる自治会支援にとどめるのではなく、地域課題を地域全体で支える仕組みとして、庁内横断的に検討していく考えがあるのか、併せてお伺いします。

特定地域づくり事業協同組合の創設について

(3) 総務省が推進している「特定地域づくり事業協同組合」の設立についての提言に対し、「前向きに取り組んでいきたい」との答弁があり、関係機関への説明会開催など一定の取り組みが進められております。そこで、改めて伺います。これまでの説明会開催などの実施を踏まえ、町として「特定地域づくり事業協同組合」を新たに設立する意向があるのか伺います。

3. 定住対策の課題である住宅環境の整備について【町長・教育長】

- (1) 定住対策の課題として雇用の問題と合わせて、住居不足があると思いますが、現状をどのように把握されているのでしょうか伺います。
- (2) 廃校となった教員住宅は普通財産に移管して活用するということですが、町営住宅（定住促進住宅含む）として活用する意向なのか、また現在の移管状況及び活用状況をお伺いします。

6月11日（木） 午後

通告4 質問者：永井 しずの 議員

1. 網野子集落入口にて行ったトイレの実証実験の結果について【町長】

- (1) 今年2月から3月に行ったトイレ使用状況の実証実験の結果と今後の計画について伺います。

2. 町内施設における喫煙所について【町長】

- (1) 町内にある施設の子供達との共有場所にある喫煙所に完全に煙を遮断する等の計画は無いのか伺います。

3. 日本郵便との連携について【町長】

- (1) 町内の郵便局と行政との連携について今後の計画など伺います。

4. 瀬戸内町の持続可能な介護に関して【町長】

- (1) 3月議会において文教厚生常任委員会から提言させていただいた介護人材の確保、定着支援と配食サービス等への緊急支援についての進捗状況を伺います。

6月12日（金） 9時30分～

通告5 質問者：泰山 祐一 議員

1. 随意契約（西古見地区再エネ導入事業）について【町長】

- (1) 本事業は包括協定を理由に随意契約とされたが、包括協定の締結のみをもって地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に該当するとした法的根拠は何か。また、同協定はいつ、どのような経緯で締結されたのかお尋ねする。
- (2) 随意契約理由書等に「西古見地区近隣には主となる避難所がない」と記載されているが、既存の西古見防災コミュニティセンターを主たる避難所と認め

なかった理由は何か。この事実と異なる記載が、国の補助事業申請における虚偽報告等の重大なリスクに当たらないか、町の見解をお尋ねする。

- (3) 本事業は、原則 5 年とされる長期継続契約の特例として、町長決裁により 15 年間にわたる長期契約となっている。契約伺いによればリース料総額は約 2,200 万円に上るが、この重大な締結判断にあたり、事前に「電気代の削減額」と「リース料等の負担額」を比較した、費用対効果のシミュレーションを行ったのか。行っている場合、その判断の基礎となる客観的な根拠資料は存在するのか。存在するのであれば、推計される具体的な「年間の節電効果(金額)」を答弁されたい。併せて、契約満了後に無償譲渡される本物件は、法定耐用年数まで町が維持・管理するとされている。リース期間中の故障等は事業者が負担する特約となっているが、15 年経過し無償譲渡された「後」に発生するパワーコンディショナー等の高額な更新費用や、最終的な廃棄・撤去等に係る将来負担をどのように試算し検証したのかをお尋ねする。
- (4) 本件のような随意契約の透明性を確保するため、他市町村と同様にホームページ等で随意契約の実績公表を行えるよう、瀬戸内町契約規則を改正する意向はあるかをお尋ねする。

2. 町の財産(著作権)管理方針について【町長】

- (1) 「瀬戸内町議会インターネット配信に関する要綱」第 6 条では、会議映像の著作権は「瀬戸内町」に帰属する一方、管理は「瀬戸内町議会」が行うという権利と管理の分離が生じている。このねじれにより、議員が適法に映像を引用する際にも、管理元(議会)から権利元(町)に対し「提訴の有無を事前確認」する極めて非効率かつ過剰な運用がなされ、表現活動に対する事実上の事前抑制(検閲)に当たりかねないかと危惧する。適法な引用であれば、町として著作権侵害を理由とした提訴を検討する方針はないと明言できるか。併せて、この責任所在が曖昧な状態を根本的に解消するため、同要綱を改正し、著作権の管理も権利元である「瀬戸内町」へ統一する意向はないか、町長の見解をお尋ねする。

3. 公共施設計画について【町長】

- (1) 公共施設等総合管理計画や個別施設計画では「30 年間で延床面積 10% 縮減」を目標に掲げているが、平成 27 年度を基準とした直近の延床面積(m²)および増減率をお尋ねする。
- (2) 本町では、有形固定資産減価償却率が上昇しており、資産更新の意思決定や財政負担が将来世代に先送りされていないか危惧している。そこで、施設ごとの維持管理費、利用状況、減価償却費、更新費用等を把握できる施設カルテを活用し、公会計と連動した公共施設管理のモデルづくりを行う考えはないか。また、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の進捗状況を毎年

度公表し、各地区において、今後の施設の在り方について町民との意見交換を行う考えはないかお尋ねする。

- (3) 人口減少や現在の進捗状況を踏まえれば、現行の10%縮減では将来負担の抑制に不十分である。本町として20%、30%、40%等の複数ケースで財源不足額の試算を行っているか。行っていない場合はその理由と今後の対応をお尋ねする。

4. 総合計画について【町長】

- (1) 令和6年度で計画期間を終えた「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、同戦略及び策定委員会設置要綱に基づく検証・総括が、令和7年度中までに適切に行われたのか。また、地域再生計画では毎年度の効果検証及び公表が定められている中、十分な検証・公表がないまま事業や他計画の策定、予算執行を進めている場合、その整合性及び妥当性をどのように整理しているのか。併せて、国からの認定取消しリスクに対する認識と、今後の具体的な検証スケジュールをお尋ねする。

6月12日（金） 午前

通告6 質問者：栄 克人 議員

1. ゴミのポイ捨て問題について【町長】

- (1) 道路沿いやガードレール付近などへのゴミのポイ捨てについて、現在の状況をどのように捉えているか伺います。
- (2) たばこの吸い殻やアルコール缶など、大人によるポイ捨てについて、どのように対策を進めていく考えか伺います。
- (3) 奄美本島5市町村で連携した取り組みを進める考えはないのか伺います。

2. 清水体育館への空調設備（クーラー）設置について【町長・教育長】

- (1) 清水体育館の暑さ対策と、熱中症リスクについてどのように認識しているのか伺います。
- (2) 利用者や関係団体から、空調設備設置に関する要望はあるのか伺います。
- (3) 災害時の避難所機能を踏まえ、空調設備の必要性をどのように考えているのか伺います。
- (4) 空調設備設置に係る概算事業費や、活用可能な補助制度はあるのか伺います。

3. 水道施設の老朽化対策について【町長】

- (1) 現在、老朽化が進んでいる水道施設・水道管の状況をどのように把握しているのか伺います。
- (2) 老朽化した水道施設の更新・改修について、今後の整備計画はどのようになっているのか伺います。
- (3) 水道施設更新に向け、国の補助金や交付金等の活用をどのように検討しているのか伺います。
- (4) 将来的な安定給水や渇水対策を見据え、ダム建設を含めた水源確保の必要性についてどのように考えているのか伺います。

4. 職員間の情報共有の強化及び来庁者対応の充実について【町長】

- (1) 現在、職員間及び各課を超えた情報共有はどのように行われているのか伺います。
- (2) 来庁者対応向上のための職員研修や接遇研修の実施状況について伺います。
- (3) 来庁者対応において、課をまたぐ連携が必要な場合の対応体制はどのように行われているのか伺います。
- (4) 今後、職員間の連携や情報共有体制をさらに強化していく考えはあるのか伺います。

6月12日（金） 13時30分～

通告7 質問者：伊東 さおり 議員

1. フェリーの安定航路維持と島民の負担について【町長】

- (1) エンジントラブル等で欠航や抜港が多かった旧船せとなみと比較した場合、新船せとなみの稼働率はどれくらい改善されそうか、そして島民及び観光客等のご利用者の評判は如何か伺います。
- (2) フェリー運賃改定のビジョンについて伺います。
- (3) 妊婦健診の航送料が無料となった経緯について伺います。
- (4) 車両予約改善対策について伺います。
- (5) 島民割引カード発行改善対策（発行元商工交通課土日祝休）について伺います。
- (6) フェリードック入り（5/31～7/4）、天長丸6月上旬新船入替等で不在期間の対策について伺います。
- (7) ドック入りが梅雨の時期と被るが、変更は出来ないのか伺います。
- (8) フェリーのハブ持込禁止に対する加計呂麻地域島民の為の対策について伺います。

2. 加計呂麻ターミナル及び周辺整備について【町長】

- (1) 加計呂麻ターミナル裏口段差等の解消はいつ頃されるのか伺います。
- (2) 加計呂麻ターミナル右側のソフトコーン(パイロン)が設置されている空地の活用を考えておられるのか伺います。

3. 公共トイレのバック等の手荷物置きについて【町長】

- (1) 公共トイレのバック掛けフックが破損したまま放置されている現状と、恒久的な修繕・設置の方針を伺います。
- (2) 多目的トイレにすら荷物置き台が設置されていない現状について、バリアフリーの観点から町の認識と改善方針を伺います。

4. 加計呂麻地域から参加する八月踊りの交通費助成及びサポートについて

【町長・教育長】

- (1) 現在加計呂麻地域から参加しているのは「諸鈍」集落と「西阿室」集落だけである。幟旗など多くの道具の運搬がある為、どうしても軽トラックをフェリーに乗せて運搬するしかない。集合時間に間に合わせる為、及び終了後にはフェリー運行時間も大幅に過ぎチャーター船が必要となる。参加するに当たり大きな負担となっている交通機関への手配及び交通費のサポートは出来ないか伺います。
- (2) 参加集落が集まったの事前会議は何時頃行われるのか伺います。

5. 重機購入について【町長】

- (1) 大型台風はじめ、いつ来るかわからない災害に備えて、加計呂麻に是非とも重機が一つ欲しいとのお声をよく耳にします。加計呂麻に重機を備えるお考えはあるのか伺います。